

法務や労務、経営計画策定に対応

J Aグループ山形地域・ 担い手サポートセンター 専任で活動拡充



サポートセンターのスタッフら
(山形市で)

J Aグループ山形地域・担い手サポートセンターが3日、体制を強化し、本格始動した。18人の専任職員が現場に出向く際に着用する真新しい制服姿で、J A山形中央会の長澤豊会長から激励を受けた。

センターは2015年10月に設置。法務や労務、税務、会計から経営計画策定、リスク対応、経営サポートなどに関する相談対応は、16年度だけで360件を超えた。17年度からは、J A山形中央会農業農政部から

独立させ、事務所をJAビル1階に移転。後方支援だけでなく現場対応に重点を移し、JAと調整の上、JA職員に同行して訪問活動をする。さらには、経営サポートを通じて、担い手との信頼関係の下で技術や経営基盤の継承、担い手の確保や産地づくりの提案活動をする。

職員も中央会の12人と全農山形、共済連山形、農林中央金庫山形支店からの出向を含め18人に増員。全員専任とした。

(山形)